

## 飛騨市生涯学習だより

発行：飛騨市社会教育委員会

発行日：令和 8年 3月16日



都竹市長(写真右)下出教育長(写真左)への受賞報告

中村代表(中央)、川上氏(左から2人目)、岡田氏(右から2人目)

飛騨市の家庭教育支援チーム「ハルジオン」が、令和7年度「家庭教育支援チーム」の活動の推進に係る文部科学大臣表彰を受賞されました。

この表彰は、文部科学省において、地域における家庭教育支援活動の一層の推進を図るとともに、「家庭教育支援チーム」の優良事例の広報、研究の進展及び認知度の向上に資するため、平成29年度より、特色のある優れた活動を行う「家庭教育支援チーム」に対し、その功績をたたえ、実施しているものです。

### 『生涯学習推進会議』の

### 発展を願い

初めに、飛騨市の社会教育の振興にご活躍・ご尽力いただく各団体や個人の皆様に、心より敬意を表させていただきます。

また、本年度も『飛騨市生涯学習推進会議』に対し、格別のご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、平成十八年四月に発足した『生涯学習推進会議（四部会編成）』も二十年を経過し、昨年度より本会議の組織や活動内容等について、社会教育委員と生涯学習課にてあらためて検討を重ねて参りました。検討を踏まえ、生涯学習推進会議は『子育てネットワーク』、『青少年健全育成』、『文化・芸術振興』、『生涯スポーツ振興』の四部会の組織を従来そのまま継続し、

今後は社会教育法に基づいた社会教育委員の職務に取り組むことを確認したところです。これにより、生涯学習推進会議も新たな一歩を踏み出せたと考えております。

今年度の社会教育委員会で決めた主な事項は、次のとおりです。

① 毎年第一回目の社会教育委員会

では、本年度の計画に加えて前年度の実績を報告してもらう。また、令和八年度の会議では「部活動の地域クラブ移行」についても説明してもらう。

② 国・県・市、及び各部会や社会教育関連の行事予定を集約し、可能な限り行事の重複を避ける。また、関係団体のイベント催行に対し、他団体の協力を勧める。

③ これまで各部会の中での事業や研修等が主だったが、社会教育委員の本務として「各方面への提言」や、必要に応じ「調査・研究」を行い、必要に応じ教育委員との意見交流を行う。

④ 社会教育に関する困り事、悩み事、要望や課題等について、社会教育委員会でも解決に向けて取り組む必要に応じ、関係団体へのアンケート調査を行い、意見等を把握する。

最後になり恐縮ですが、皆様方の益々のご健勝とご発展を祈念申し上げます。ご挨拶・ご報告とさせていただきます。

飛騨市社会教育委員会

委員長 竹林 敏

## 2026 年度前期 飛騨市民カレッジのご案内

市民でも参加できる!

飛騨市民カレッジ  
Hida Citizens College

2026 年度 前期

学びに卒業、なんてない!

全50講座

開催期間 2026.4 - 2026.9

飛騨市民カレッジは「学びに卒業なんてない!」をテーマに面白い学び場作りを進めています。

2026 年度も、普段はなかなか出会えない講師を招いた講座や、親子で参加できる講座、市民が自ら企画した自主講座など盛りだくさん!

詳しくは3月10日の新聞折込冊子または市民カレッジHPをご覧ください。

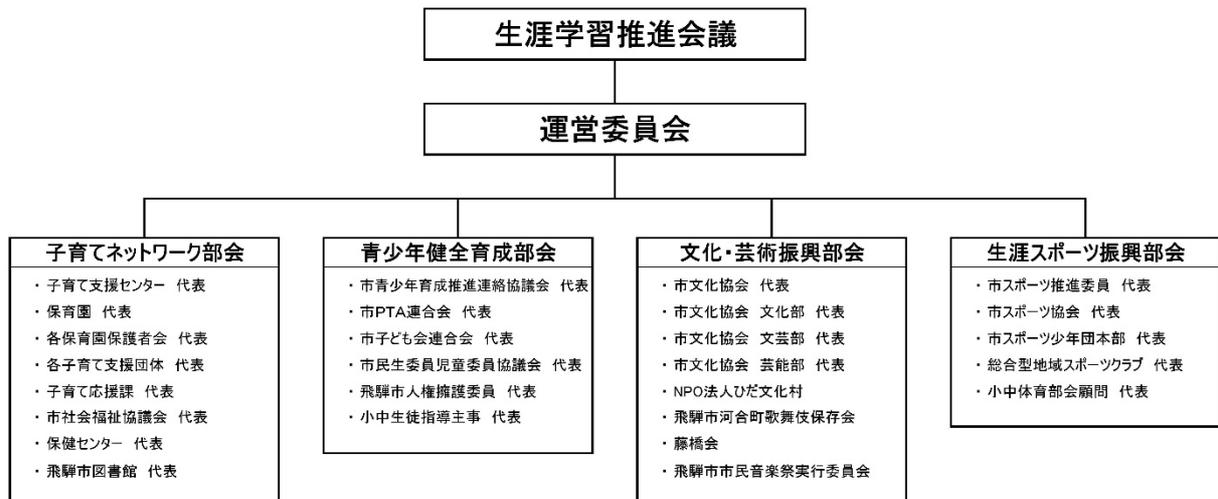
冊子は各町コミュニティセンターでも配布しております。



飛騨市民カレッジHP

### ～飛騨市生涯学習推進会議とは～

- ◆目的 飛騨市内生涯学習関係団体が連携し、飛騨市の生涯学習事業を推進するため、『飛騨市生涯学習推進会議』を設置しています。
- ◆主な活動
  - ・生涯学習事業に関する諸団体との連携・協力体制づくりに関すること。
  - ・生涯学習推進のための諸施策の企画・実施に関すること。
- ◆組織図



## 文化・芸術振興部会

文化・芸術振興部会は、市民の文化・芸術の振興を図ることを目的に、文化・芸術に係わる関係団体との情報共有を主に行っています。今年も飛騨市文化協会文化祭が開催され、文化展及び生涯学習展が十一月一日から二日に、芸能祭が十一月二日に開催されましたので参加・協力しました。

生涯学習展は市内の保育園や学校、そして消防署の入選作品が展示され、文化展では各サークルや個人の作品展示があり、子どもから大人まで世代を超えた形で文化に親しんでいただきました。

また、吉城高校の柏葉祭には飛騨市文化協会からも展示を行い、吉城高校からは文化祭に展示していただくなど交流を行いました。

芸能祭では子ども達も参加して大人との交流を行っていただきました。子どもたちの発表会として十月十九日には第3回飛騨市文化協会文化少年部の交流発表会を開催し、将来を担う子どもたちが和太鼓・民謡・詩吟等を披露されましたので、こちらへも協力しました。

十一月九日には、民族芸能大会

が福井市で開催され岐阜県代表で神岡町の船津盆踊りが出演されましたので大会の応援をしました。

また、美術館では飛騨市美術館の開催に協力するなど、多くの文化・芸術の振興に努めました。今では人口が減ってきたことや文化・芸術以外の選択肢も多岐に渡っているため、文化や芸術の各団体とも会員の減少が続いています。これからも文化・芸術を広く普及していくためにどのような行動をすればいいのか関係団体と情報共有しながら、対応策を部会で話し合っていかなければならないと考えています。

文化・芸術振興部会

部会長 田中 吉久



文化展・生涯学習展の様子

## 生涯スポーツ振興部会

今年度は、十月に「第三十七回全国健康福祉祭」(愛称:ねんりんピック岐阜2025)があり、当部会事務局のスポーツ振興課職員は、その準備等の対応に時間を取られることが見込まれたため、第一回部会は紙上開催として、各団体にアンケート調査を行い、「ねんりんピック」終了後に、それを踏まえて部会を開催することにしました。アンケート内容は、①飛騨市スポーツ振興の方針「健康づくり 生きがいづくり まちづくりにつながる生涯スポーツの推進」の具現度重点をおいて取り組もうとしていること③日頃感じている課題や困っていること④スポーツ振興課への要望⑤今後の部会のあり方についてとしました。

アンケートの結果、①研修会のあり方②自己財源と補助金・交付金③地域クラブ化と指導者・指導体制④若年層のスポーツ離れと指導者の減少及び負担感増⑤スポーツ施設の維持管理や更新等への要望が上がってきました。

十二月十五日に第二回部会を開

催し、意見交流をしました。

小中学生との交流の例や研修会の内容を参加者の興味がありそうな内容にすることで参加者が増えたという実践を聞かせていただきました。施設の改修や助成金増額などについては、市の予算の関係もあるので直ぐに対応というわけにはいきませんが、部会として、今後も各団体間の連携と、取り組みの工夫は可能です。

次年度は①各団体の年間計画を持ち寄って部会として協力できることは協力し合う②研修会や講演会は生涯学習課と調整し実施に向けて取り組む③他市の実践例を参考にすることを確認しました。

生涯スポーツ振興部会

部会長 大谷 吉憲



第2回部会の様子  
(2025.12.15)

## 子育てネットワーク部会

子育てネットワーク部会は、日々子育てに奮闘するママやパパ等をみんなで支える地域づくりを推進するために、子育てに関わる各種団体の連携や協力できる体制を整えることを目指して、情報交換や研修会を開催しています。今年度は、「音楽」をテーマに活動を行いました。



絵本「猫のピート」の物語に合わせてながら合奏する様子



飛騨市 HP

(子育てネットワーク部会)

今年度の部会は、十月の一度しか開催できませんでしたが、「音楽の力は無限」と題して、市内で音楽教室をされている高橋氏を講師に迎え、講演と実践を行いました。音楽や歌の効果のお話を聞いたり実際に参加者で歌ったり、手遊びしたりと楽しみながら効果やその活用法について学びました。

当部会の詳しい活動や連携団体の活動について掲載した通信を毎年一回発行しています。バックナンバーも含め、下記コードからご覧いただけます。

子育てネットワーク部会

部会長 長瀬 恵子

## 青少年健全育成部会

青少年健全育成部会は、青少年育成推進員、市PTA連合会、人権擁護委員、民生委員児童委員、市子ども会連合会、古川中学校主幹教諭など、青少年の健全育成に関わる関係団体が集まり、情報共有や連携を深めることを目的として活動しています。

近年、子どもたちを取り巻くインターネット環境は大きく変化しており、昨年度の部会では、青少年のインターネット利用に関する問題について学習する機会を設けました。

現在、子どもたちはスマートフォンやゲーム機、学校で使用するタブレット端末などを通じて、日常的にインターネットに触れています。さらに、近年は生成AIの普及により、情報の入手や発信がより簡単になる一方で、真偽の判断が難しい情報に触れる機会も増えています。

こうした環境の中では、SNSを通じたトラブルや犯罪被害、ネット依存といった従来からの課題に加え、誤情報の拡散や他者を傷つける表現への無自覚な関与など、

新たな問題も懸念されています。子どもたちが安全にインターネットを利用するためには、保護者をはじめとする大人が変化を理解し、適切に関わっていくことが重要です。

当日は、岐阜県が実施したネット依存対策研修会の講演動画を視聴し、その後、意見交換を行いました。ネット利用時のルールづくりの重要性や、子どもたちに正しい情報の見極め方を伝える必要性、人権擁護の観点から誹謗中傷を防ぐ取組の大切さなど、様々な意見が出され、有意義な意見交換となりました。

青少年健全育成部会では、今後も社会の変化を踏まえながら、関係団体と連携し、青少年の健全な成長を支える取組を進めていきます。

青少年健全育成部会

部会長 永倉 秋則